新指紋照合装置“FPR-MKⅡ”

大森　正*
足達満則*

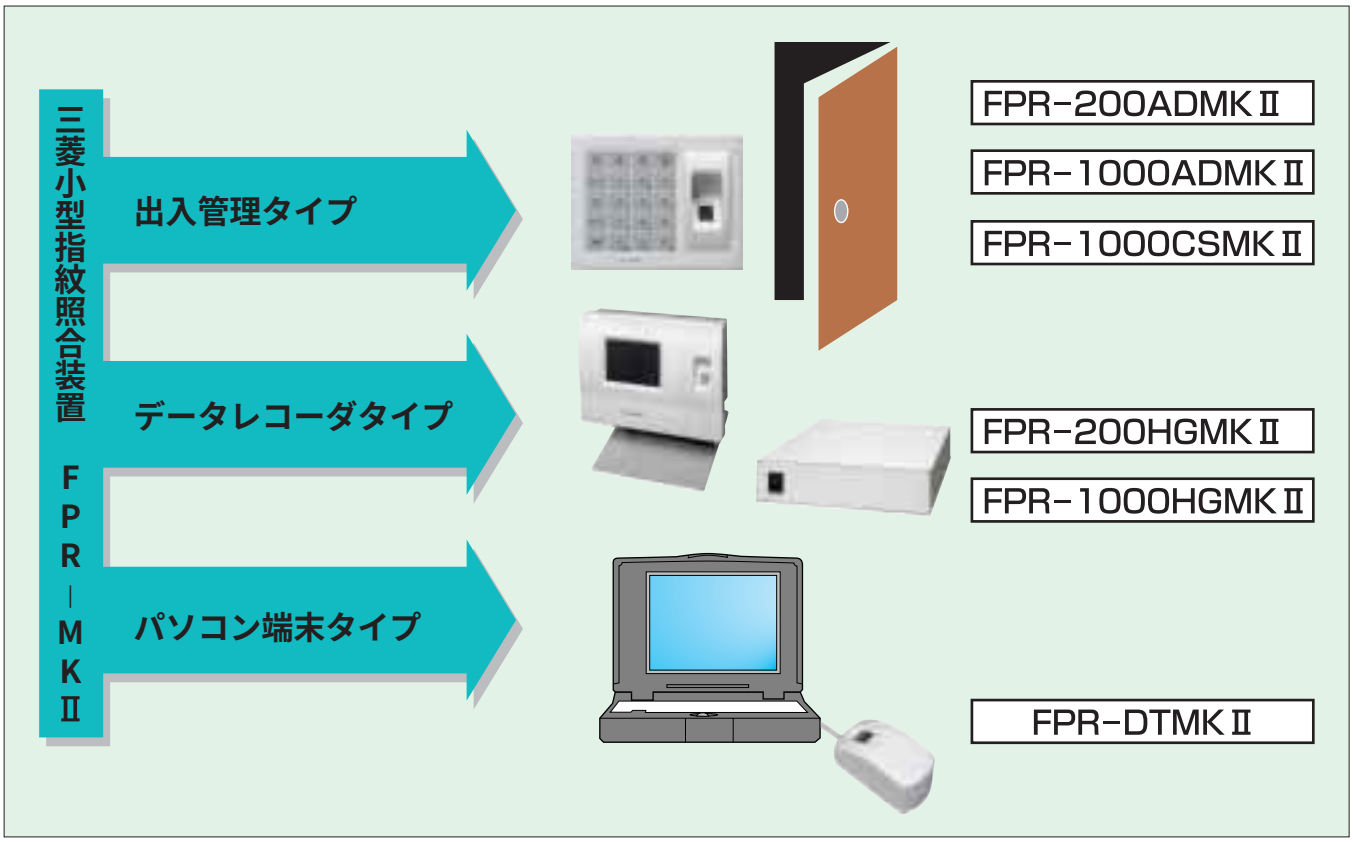
要　旨

指紋照合装置の新しいラインアップとして，三菱小型指紋照合装置“FPR-MKⅡ”シリーズを開発し，1998年４月から発売した。

このシリーズの特長は，小型・低価格化に加え，照合操作を簡素化し，より使いやすい製品を実現した点にある。すなわち，画像処理や照合処理を実行する処理回路を１チップRISC CPUで実現するとともに，画像センサからのイメージを直接ディジタル信号で取り込むことで回路部品を大幅に削減した。これにより，サイズを従来機の１／５（容積比），価格を従来機の１／３にした。

さらに，照合精度の向上と高速な検索アルゴリズムを導入することで，従来必す（須）であったID（Identification）番号の入力操作が不要となるオートモード（指を置くだけで照合するモード）を実現した。

三菱小型指紋照合装置FPR-MKⅡシリーズは，出入管理用タイプであるFPR-200／1000ADMKⅡ，FPR-1000CSMKⅡを始め，出退勤管理に適したデータレコーダタイプFPR-200／1000HGMKⅡ，パソコン端末タイプのFPR-DTMKⅡなど，ビルセキュリティから情報セキュリティまで幅広い用途に対応可能な製品である。



新指紋照合装置FPR-MKⅡの製品ラインアップ

出入管理タイプは，１扉の出入管理機能を備えたFPR-200／1000ADMKⅡと，４扉までの出入管理機能を備えたFPR-1000CSMKⅡをラインアップした。データレコーダタイプはFPR-200／1000HGMKⅡを，パソコン端末タイプはFPR-DTMKⅡをそれぞれラインアップした。型名の数字は登録可能な指の数を表す。

*稲沢製作所